

ボタニガード水和剤ダクト内投入の使い方

ご利用の際にはラベルをよく読み、特に初めて利用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。



適用病害虫および使用方法(ダクト内投入の部分のみ抜粋)

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	ホーベリア パシアーナを含む農薬の総使用回数
トマト ミニトマト	コナジラミ類	10g/10a /日	発生前 ～ 発生初期	—	ダクト内 投入	—

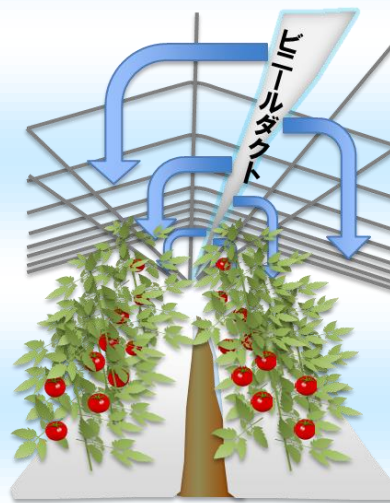
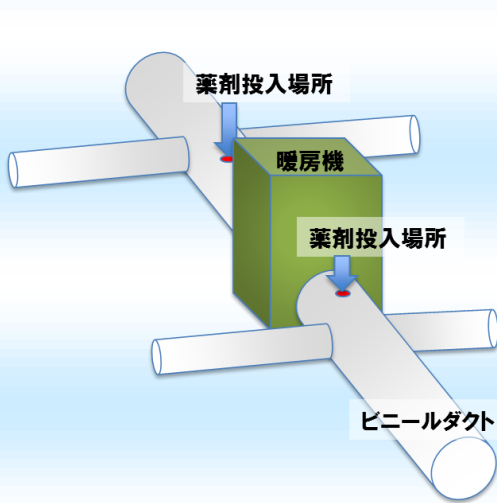
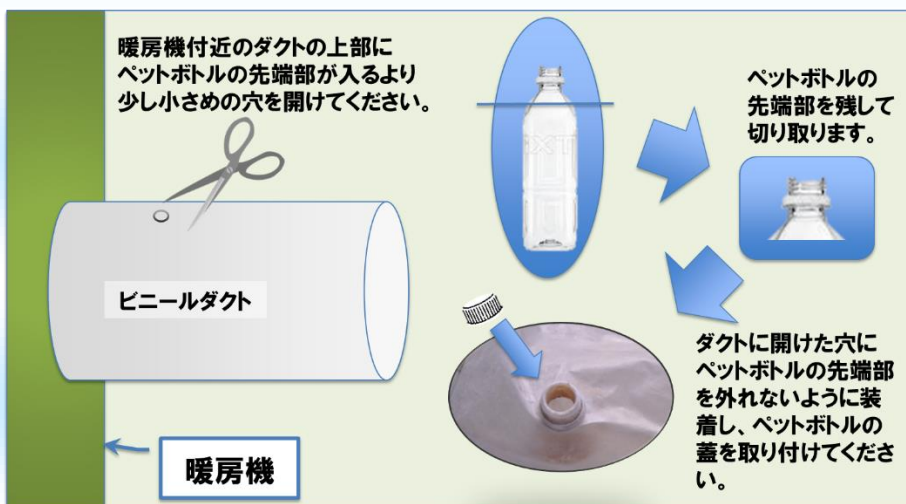


図 1. 薬剤の投入場所(例)

図 2. ハウス内への薬剤の分散イメージ

ダクト内投入の使い方(例)

1. 事前準備



ボタニガード水和剤 500g

2. 薬剤の準備

ダクト散布専用
ケチャップボトル等
を用意します。



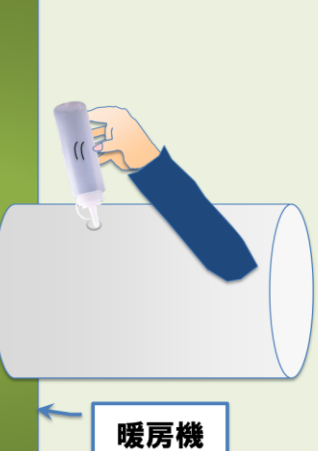
ケチャップボトルの蓋を開けて、こぼれないようにロウト等で受け止めるようにし、茶こしを通して葉さじ等でポタニガード水和剤を10g/10aを投入して、蓋をします。

注)
ケチャップボトルには必ず「農業散布用」と記載してご利用ください。
ダクト散布に利用したケチャップボトルは食べ物等と一緒に保管せず、農業散布器と同じ場所で保管してください。
ケチャップボトルにポタニガード水和剤を入れっぱなしにすることはさけてください。毎日水和剤の袋からケチャップボトルに入れてからご使用ください。

薬剤を入れた後に蓋をする

茶こし等を用いるのは、輸送中・保存期間中の圧力等により、ポタニガード水和剤開封時に軟塊が観察されることがあるためです。水に希釈して散布する場合は、茶こし等を用いる必要はありません。

3. ダクト内への薬剤の投入



1. ダクト送風機を止めてください。
2. ダクトに装着したペットボトルの蓋を開け、ポタニガード水和剤の入ったケチャップボトルを差し込み、ボトル部分を指で押し出すように水和剤をダクト内に投入してください。
3. 投入後にペットボトルの蓋をしてください。
4. ダクト送風機のスイッチを入れたら、速やかにハウスの外へ出てください。

注) 他剤との混用散布はしないようにしてください。

暖房機

注)初めて利用する場合、ダクト内の静電気でポタニガード水和剤がダクト内に残る可能性があるため、1～2日間予備運転することをお勧めいたします。

ダクトに直接投入する場合(例)



ケチャップボトル等を用いなくても直接ダクト内にポタニガード水和剤を葉さじ等で投入することは可能です。

こぼれないようにロウト等で受け止めるようにし、茶こしを通して葉さじ等でポタニガード水和剤を10g/10aを投入して、ペットボトルの蓋をします。その際、必ず送風機を止めてから投入してください。

ダクト散布で利用するさじ・茶こし・ロウト等にも「農業散布用」と記載したシールを添付してください。